

嘉麻市社協だより

えがお

No.110

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

<https://www.facebook.com/kama.swc>

発行日/2015.4.1



日中一時支援事業
ボランティアさんと一緒に



千手灯ろうまつり
灯籠に点火



山田中学校卒業式 たくさんの思い出を胸に

平成27年度 嘉麻市社会福祉協議会の組織体制が変わります

法人運営

- ・適正かつ透明性のある法人運営(理事会、評議員会、内部監査、外部監査)
- ・浄財の有効活用(寄附金、会費等の募集)
- ・市民生活に密着した存在(アルミ缶等回収事業、稲築地区バス待合所・児童遊具の管理、チャイルドシート、車いすの貸出、ふるさとポストカードの販売、葬祭所の指定事業、初盆世帯供物配布事業、飲料水自動販売機の設置、紙おむつの宅配事業)
- ・法人設立10周年記念事業(支えあいのまちづくりサポーター講座、記念式典)

～孤から個へ 個から地域へ～

一人ひとりとの関わりを大切に、目の前の問題を一緒に解決していきます。そして、地域みなさんと共有し、支え合える地域を目指します。今年度も嘉麻市社協をよろしくお願いいたします。

かま生活支援・相談センター (コミュニティワークセンター)

- ・法律相談
- ・心配ごと相談
- ・電話による福祉なんでも相談(24時間・365日)
- ・校区ごとにコミュニティソーシャルワーカーの配置
- ・小地域活動の拠点づくり(地域福祉部、福祉推進員)
- ・ふれあいいいきサロン
- ・小地域ネットワークの推進
- ・社会資源の創出(社会福祉法人の社会貢献、地域支えあい事業)
- ・安心して安全な地域生活(空き家管理事業、緊急時通報システム)
- ・広報活動(広報紙の発行、ホームページ・SNSによる情報発信)
- ・当事者を孤立させない(在宅介護者の集いの開催)
- ・居場所、行ける場所づくり(寄ってこハウス)
- ・子育て世代の孤立を防ぐ(リユースセンター、おしゃべりサロン)

かま権利擁護センター

- ・県社協日常生活自立支援事業(飯塚市・嘉麻市・桂川町)における基幹的社協事業
- ・地域福祉権利擁護事業(個別支援計画の策定と寄り添い型支援)
- ・市民後見人の養成、活動支援(養成講座、フォローアップ講座)
- ・成年後見制度の啓発(出前講座、フォーラム開催)
- ・深刻な生活課題の課題解決(審議会を開催)
- ・適性な事業運営と透明性の確保(運営委員会の開催)
- ・課題の共有と支援の均質化(定例的な支援員会議の開催)
- ・法人後見等の積極的受任
- ・安心と豊かな老後生活の支援(遺言書作成支援事業、身元保証事業、エンディングノートの推進)
- ・生活再建に向けた寄り添い型支援(諸費立て替え事業)

介護保険事業(在宅福祉推進部門)

- ・居宅介護支援事業
- ・訪問介護事業(嘉麻北訪問介護事業所、嘉麻南訪問介護事業所)
- ・認知症対応型共同生活介護事業
- ・障害者総合支援法にもとづく居宅介護、重度訪問介護等事業

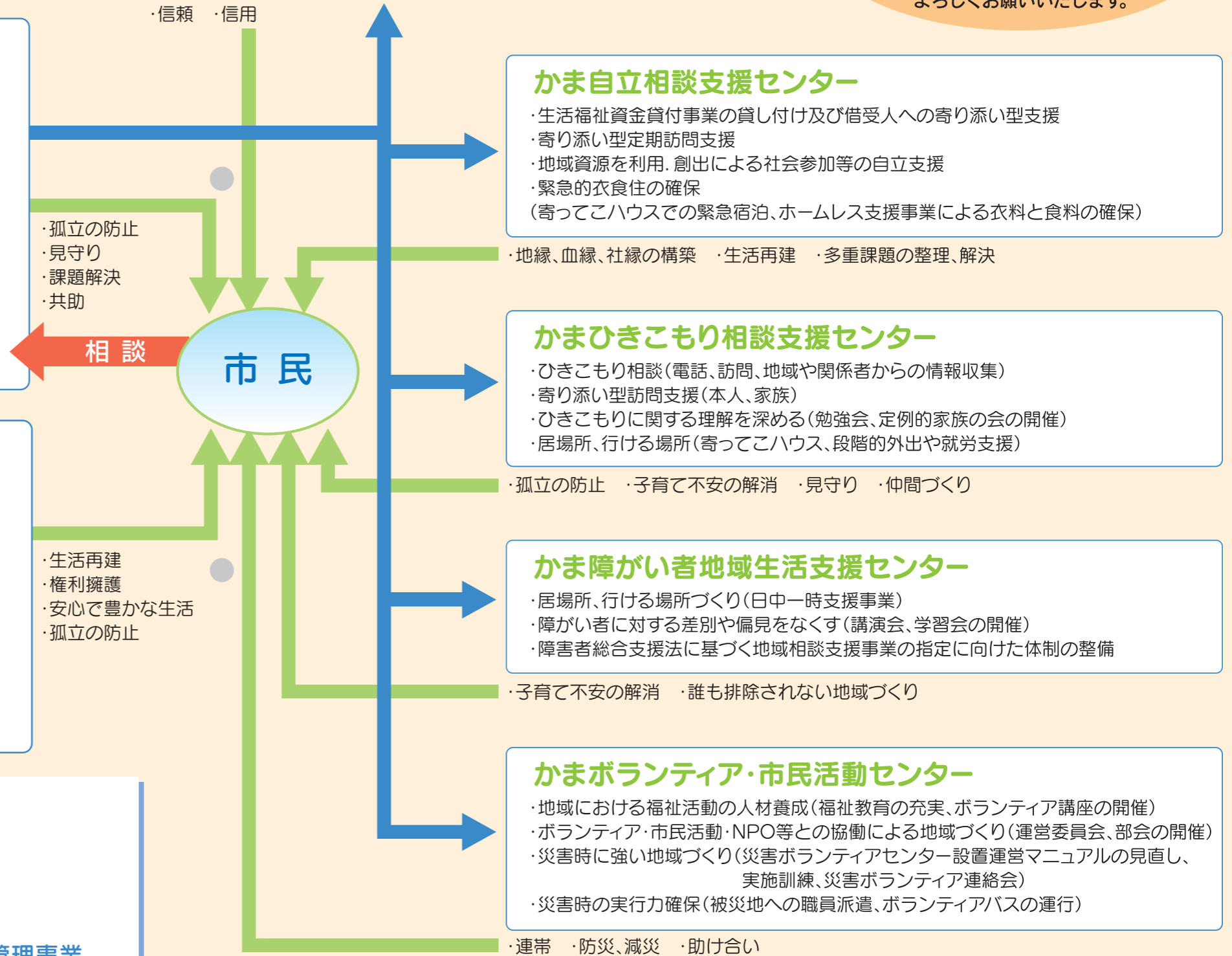
受託事業(受託事業管理経営部門)

- ・配食サービス事業
- ・高齢者生きがい活動通所支援事業
- ・生活管理指導員派遣事業

公の施設の指定管理事業(福祉施設等管理・経営部門)

- ・山田ふれあいハウス

・信頼 ・信用



- ・孤立の防止
- ・見守り
- ・課題解決
- ・共助

- ・生活再建
- ・権利擁護
- ・安心して豊かな生活
- ・孤立の防止

かま自立相談支援センター

- ・生活福祉資金貸付事業の貸し付け及び借受人への寄り添い型支援
- ・寄り添い型定期訪問支援
- ・地域資源を利用、創出による社会参加等の自立支援
- ・緊急的衣食住の確保(寄ってこハウスでの緊急宿泊、ホームレス支援事業による衣料と食料の確保)
- ・地縁、血縁、社縁の構築 ・生活再建 ・多重課題の整理、解決

かまひきこもり相談支援センター

- ・ひきこもり相談(電話、訪問、地域や関係者からの情報収集)
- ・寄り添い型訪問支援(本人、家族)
- ・ひきこもりに関する理解を深める(勉強会、定例的家族の会の開催)
- ・居場所、行ける場所(寄ってこハウス、段階的外出や就労支援)
- ・孤立の防止 ・子育て不安の解消 ・見守り ・仲間づくり

かま障がい者地域生活支援センター

- ・居場所、行ける場所づくり(日中一時支援事業)
- ・障がい者に対する差別や偏見をなくす(講演会、学習会の開催)
- ・障害者総合支援法に基づく地域相談支援事業の指定に向けた体制の整備
- ・子育て不安の解消 ・誰も排除されない地域づくり

かまボランティア・市民活動センター

- ・地域における福祉活動の人材養成(福祉教育の充実、ボランティア講座の開催)
- ・ボランティア・市民活動・NPO等との協働による地域づくり(運営委員会、部会の開催)
- ・災害時に強い地域づくり(災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直し、実施訓練、災害ボランティア連絡会)
- ・災害時の実行力確保(被災地への職員派遣、ボランティアバスの運行)
- ・連帯 ・防災、減災 ・助け合い

平成27年
4月1日
開設

仕事や生活、家計のことで困ったら

相談無料
秘密厳守

かま自立相談支援センターへ

かま自立相談支援センターは、生活上の悩みや経済的な困りごとなどについて相談支援員があなたと一緒に問題を整理して、どうしたらいいかを考え、解決に向けてサポートしていきます。

たとえば…こんなことで
困っていませんか？

子どもが
ひきこもっている
自分も高齢で、
将来が不安

親の介護の
ことで、仕事を
続けられるか
不安

病気になる
これからのことが
心配

仕事をしたい
けど働けるか心配
仕事になかなか
決まらない

家計のやりくり
ができず、
公共料金などが
払えていない

借金があって
生活が苦しい
収入がないので
家賃が払えない

悩みが
あるが相談先が
わからない

人との
コミュニケーションに
自信がない

一人で悩まず、まずはご相談ください！

TEL 0948-43-4751 (直通)

(電話での相談は、24時間365日対応しています)

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

この事業は、平成27年4月1日からの生活困窮者自立支援法の施行により、嘉麻市からの委託を受けて嘉麻市社会福祉協議会が実施しています。

成年後見 制度 Q&A

親族がいる場合、後見人には必ず親族がなる必要がありますか？

A

いいえ、必ずしも親族が後見人になる必要はありません。

弁護士や司法書士、社会福祉法人といった第三者を後見人候補者として依頼することができます。

たとえば本人が希望しても、親族による後見は、金銭面を含めた利害の対立などから、公平性を損ねることがあり、裁判所がふさわしくないと判断するケースもあります。



ご案内

★在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方が、いろいろな情報交換をし、楽しくリフレッシュしています。
4月9日(木)

稲築住民センターにて
(漆生878番地)

5月14日(木)

山田ふれあいハウスにて
(上山田5002番地6)

※時間はいずれも13時～15時です。

★ひきこもり家族の集い

ひきこもりの家族を持つ方々と、いろいろな悩みを話したり、情報交換をしています。
4月23日(木)、5月27日(水)
13時～15時

★ひきこもり勉強会

4月30日(木)
13時～15時

稲築住民センターにて

★フリースペース

家から二歩外に出て自由に過ごせる居場所です。特にプログラムはありません。

4月22日(木)、9日(木)、23日(木)
13時30分～15時30分

5月7日(木)、14日(木)、21日(木)、28日(木)
13時30分～15時30分

※ひきこもり家族の集い、フリースペースの場所は、いずれも寄つてハウスです。日時等が変更になることもございますので、事前にご連絡いただければ幸いです。

《お問い合わせ先》

嘉麻市社会福祉協議会

0948-42-0751

Email: tiiki@kama-syakyo.com

社協だよりクイズ

「読めば答えが見つかるかも」

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

新しい嘉麻市社協の組織体制では、就労や借金についての相談をどこで受け付けているでしょうか？

- (1) 嘉麻北訪問介護事業所
- (2) かまボランティア・市民活動センター
- (3) かま自立相談支援センター

●応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、4月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにて応募ください。

●送付先 T800-00005
嘉麻市岩崎1-4-3番地3
嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: tiiki@kama-syakyo.com

●前号のクイズの答え (2)

高校生災害ボランティアサポーター養成研修会の午後からのテーマは、「避難所生活と支援」でした。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

ふるさとを離れて他県で生活されている方々は、何かにつけふるさとを思い出し、なつかしい気持ちになるんじゃないかな。自分は、実家の近くに住んでいるので幸せですね。

●赤い羽根共同募金運動で募金している姿を見て、皆さんの協力があるからいいですね。

※当選者の発表を発送をもって代えさせていただきます。

地域で支え合っていくために

16名が第2期市民後見人養成講座を修了

2月24日(火)は平成26年度第2期市民後見人養成講座の最終日で、これまでの振り返り、閉講式を行いました。

本会の木山事務局長が、市民後見人が必要となった時代背景や制度の流れについて説明したほか、本会が取り組んでいる地域福祉権利擁護事業、日常生活自立支援事業、法人後見事業に関して復習しました。そのうえで支援とはどうあるべきか、常に自分に問いかけながら関わっていく必要

があること、問題や悩みを抱えている方をそのまま受け入れ、何が必要なのかを一緒に考えていかなければならないことなど、これまでの講座で学んだ大事なことを振り返りました。

また、申し立て時の事例をグループごとに考え、学習してきた成果を確かめました。

その後の閉講式では、嘉麻市高齢者介護課の池田蔵課長が受講生のみなさんへのねぎらいとともに、「今後の活躍を期待

します。」と挨拶をされました。その後、本会の村上会長が、修了証を一人ずつに手渡し、およそ3カ月間の基礎講座が終了しました。

6月にはフォローアップ講座が始まりますので、またみなさんと一緒に学び、地域で支え合う活動を広めていきたいと思



難しい制度を楽しく学びました

平成26年度みんなの力で地域を支え合うフォーラム開催

2月22日(日)、稲築地区公民館で、フォーラムを開催し、51名が参加されました。

第1部では、本会職員が作成した電子紙芝居を行いました。嘉麻市に住むかまこさんが、成年後見制度を利用する物語を通して、制度の概要や大切さを説明しました。

第2部では、行政書士で社会人落語家の天神亨きよ美さん(本名生島清身さん)に『天

国からの手紙』という創作落語をしていただきました。天国に行った母親が、相続でもめている子どもたちのために遺言と手紙を書いて届けるという、人情味があふれた話の中にも笑いがあり、つついひきこまれてしまいました。

続いて、講演では、自分の人生のゴールを含めた覚書やメッセージなどを残しておくエンディングノートについて説

明されました。生島さんは、「人生を悔いなく笑顔で過ごすために、『エンディングノート』を活用してほしい」と話されました。相続や遺言、エンディングノートについて楽しく学び、また、笑うことの大切さも感じたフォーラムとなりました。



嘉麻市社協のブログ

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いで、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。ぜひご覧ください。 <http://kamasyakyo.chobi.net/worldpress/>

2015年 3月3日(火)

今日は桃の節句です。
「ひな人形を飾ったよ」と市民の方から声をかけていただき、ちょっとおじゃましました(^o^)/
とっても立派です。
趣味でさげもん等を作られている方で、たくさんのきれいな飾りで楽しませてもらいました。
天気が悪く寒い一日でしたが、雛祭りの飾りを見せてもらい、外では梅の花も見かけ、春を感じました(*^_^*)
暖かくなる日が待ち遠しいです♪



2015年 3月5日(木)

碓井地区の住民Bさんから、近くの人がふらっと気軽に立ち寄れる交流拠点を作りたいという相談があり、開設に向けた準備を進めています。

その方のお宅は、昔は個人商店を営まれていたということで、その店舗部分を使用できるように、協力者も募って、まず片付けから始めました。明日もその続きを行うことになり、今日はその事前の打ち合わせに行ってきました。Bさんの友人の方が遊びに来られていたため、室内に上がって、一緒に話をしているうちに見つけたのが、ダイヤル式赤電話です。

これは公衆電話として、実際に店先で活躍していたものですが、今では、外国のコインを入れる貯金箱になっているそうです。懐かしさのあまり、思わず写真を撮らせていただきました。



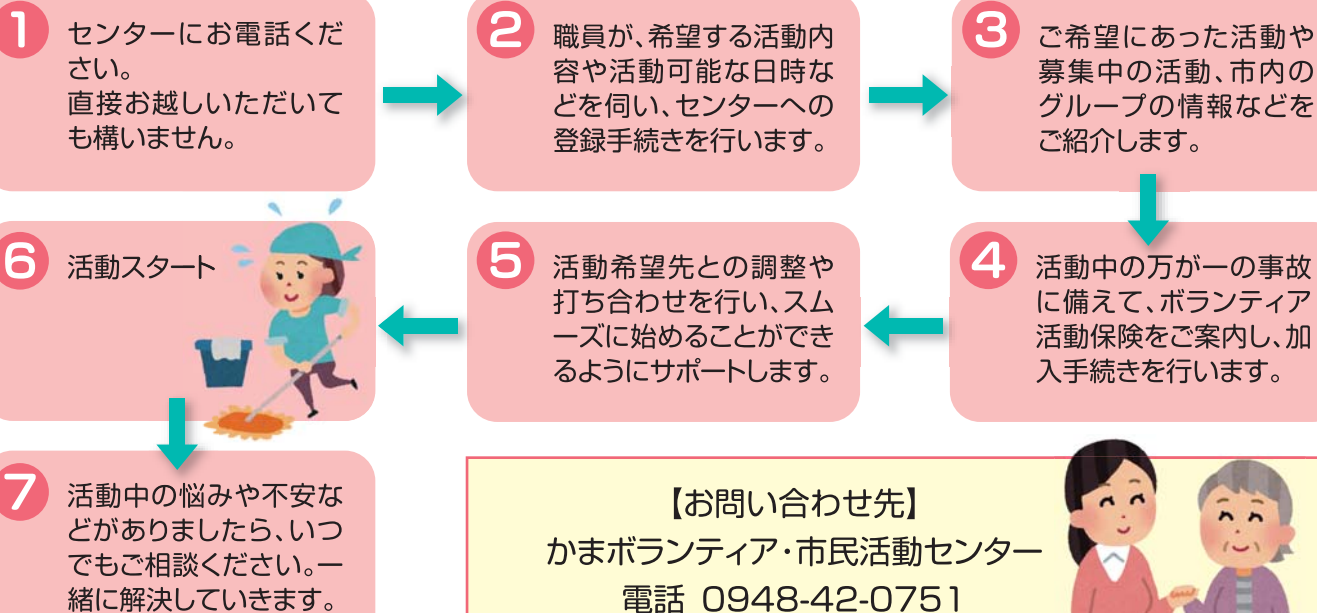
かま ボランティア市民活動センター情報

活動したいという思いを応援します

ボランティア活動に関心はあっても、どのように始めてよいかわからなかったり、自分にできるか不安があったりして、なかなか実際に行動に移せない方も多いのではないかと思います。

かまボランティア・市民活動センターは、皆さんが活動を始めるときのお手伝いをしています。

今回は、センター利用の具体的な流れをご紹介しますので、ぜひお気軽にご相談ください。



【お問い合わせ先】
かまボランティア・市民活動センター
電話 0948-42-0751



ボランティア情報

水泳ボランティア

ふぁん・ファン・funでは、障がいのある子どもたちと一緒にプールに入り、水中でのレクリエーションの補助をしていただける方を募集しています。

日時 4/25(土)、5/23(土)、6/27(土)、7/25(土)、8/22(土)、9/26(土)、10/24(土)、11/28(土)、1/23(土)、2/27(土)、3/26(土)
10時~12時

場所 山田サルビアパーク(嘉麻市上山田352)

活動内容 水中レクリエーション、リズム遊びの補助
※初めての方も安心して活動できるよう、指導者のサポートがあります。

募集締切 各実施日2週間前

備考 水着、タオル、水泳帽子をご用意ください。
活動後は軽食を準備します。
興味のある方は見学もできます。

デイサービスでの話し相手

NPO法人良創夢 嘉麻良創夢デイサービスセンターでは、話し相手や活動のお手伝いをしていただけ方を募集しています。

日時 随時(月~土曜日)
※詳しい時間帯については、調整いたしますのでご相談ください。

場所 嘉麻良創夢デイサービスセンター
(住所:嘉麻市飯田511-1)

内容 話し相手、アクティビティ(活動)のお手伝い

備考 動きやすい服装でご参加ください。



お問い合わせ先・お申し込み先：かまボランティア・市民活動センター ☎0948-42-0751

依存症ビジネス

～「廃人」製造社会の真実～



著者：デイミアン・トンプソン

訳者：中里京子

出版社：ダイヤモンド社

て、現代社会は、特定の有害な衝動を誘惑するための操作方法を企業が学んでいて、その技術が市場の様々な場面で進化を遂げていると分析しています。

そのうえで、多くの人が無防備な消費者（依存症予備軍）であって、深刻な依存的行動に陥る危険性に未だかつてないほどさらされているにも関わらず、自分が依存症の方向にシフトしていることに気づかずにいると訴えています。

また、現代社会の消費者経済が人々の意志の弱さにつけ込んで築かれている面があること、欲望を利用することで社会が発展を遂げてきたことに触れ、潜在的な依存的本能を引き出すような環境を自分たちで作ってきてしまっている指摘をしています。

食べ物や酒、テレビ、コンピュータなど様々なものが日々進化し、魅力的になり、かつ手に入りやすい状況が意図的に作り出されていること、誰もが「依存者」になりうる社会であることなど、依存症について、これまでの自分になかった新たな考え方や気づきを与えてくれた一冊です。

(たけがわ)

炭鉱の記憶

No. 97

今回は、赤間正久さんに寄稿いただきました。

戦後早く七十年を過ぎ、稲築町に生誕した私は一生の関わりとなった。特に稲築東中学に教員として勤務し、三井山野砒山の炭砒城下町とし発展した町の学校での生徒の皆さんとの思い出は数多くあります。三十年代の大多数の生徒、体育館を仕切つての教室での学習、便所が少く廊下横の防火用水バケツに小便をした元気者の生徒のいたこと、菅原写真屋さんと一緒に窮屈な修学旅行列車に乗ったこと。山野坑坑内大爆発のこと。エネルギー革命（石炭エネルギーから石油エネルギー）による炭坑の衰退、卒業生の県外就職、教職員郡市外への移動等学校内にも凄まじい変化がありました。多くの記憶の中にも私にとって忘れ難いものの中に、捕虜収容所が戦争中に存在し、多くの南方戦線で捕虜となり、日本各地で強制労働させられていた中に三井山野坑山にもそのつがであったことです。戦後それぞれの国に帰国した元捕虜の一人イギリス人ジョン・バクスター氏が捕虜として従事していた山野炭坑の手記「NOT MUCH OF A PIONEER」(「たいしたピクニックではなかった」)を携えて稲築町に他のオランダ人元捕虜と再来されたことです。稲築町から翻訳の依頼を受け、生涯に一度あるかなしかの機会と思ひ翻訳をし出版し筑豊地区の学校図書館に配布しました。そして、どうしても炭坑の記憶を風化させることなく語りつぎ、平和の尊さを維持するには歴史を顧み、思いを新たにしておくと思ひ、昨年町制40周年記念公園入口に写真のような看板を市の費用により設置してもらいました。この事が新聞に掲載され知った「POW」Prisoner of War 研究会の会員、笹本妙子氏の著書「連合軍捕虜の墓碑銘」の著者が来られ、捕虜問題が残した傷跡の大きさが子や孫にも引き継がれている現実を知り、平和の尊さを噛み締めなければならぬと強く感じています。



炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。

☎0948(42)0751

法人運営 INFORMATION

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり理事会、法人後見等受任者定期監査を開催しました。

記

第48回理事会 <開催日>平成27年3月17日(火)

【議案第140号】平成26年度第2次補正予算について

【議案第141号】平成27年度事業計画及び収支予算について

【議案第142号】定款の一部変更について

【議案第143号】経理規程の改正について

【議案第144号】ボランティア・市民活動センター運営委員会規程の一部改正について

【議案第145号】平成27年度広報紙印刷請負契約について

法人後見等受任者定期監査 <開催日>平成27年3月13日(金)

嘉麻市社協が誕生して10年

平成27年度は、嘉麻市社協にとって、10周年目となり節目の年度です。本会が掲げる「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現には、市民の皆様の福祉への関心を高め、一緒にいろいろな課題を考えていくことが必要です。

そこで、平成27年度は、年間をつうじて、今日的な福祉課題をテーマにした福祉講座「支えあいのまちづくりサポーター講座」を開催します。

第1回目のテーマは、「社会福祉法人の地域貢献」です。下記の通り実施いたしますので、関心のある方はご参加ください。

記

日時 平成27年4月24日(金) 13時30分～15時30分

場所 夢サイトかほ

内容 「社会福祉法人の地域貢献」

講師 熊本県健康福祉部健康福祉政策課

参加費 無料

参加申し込み 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

5月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。

法律相談

開設日:5月7日(木)
13:00～16:00

会場:山田ふれあいハウス

開設日:5月21日(木)
13:00～16:00

会場:稲築住民センター

心配ごと相談

開設日:5月13日(水)
:5月27日(水)

13:00～15:00

会場:稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

福祉のまちづくりのために

嘉麻市社会福祉協議会では、市民のみなさんとともに福祉のまちづくりを推進していくため、会員を募集しています。

年間を通じて受け付けていますので、ぜひ、ご参加ください。

会員の種別の金額

一般会員 10 1,000円/年額

法人・団体会員 10 1,000円/年額

お問い合わせ

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

嘉麻市
社会福祉協議会指定
葬祭場紹介

いすや会館

嘉麻市牛隈1822 ☎(0948) 57-4444

葬儀を終えてご家族様を見送る時最後に「ありがとう」とのお言葉を頂ける事がございます。私共一同、葬儀を通して喜びを感じる時でもあります。これからもより一層お客様の立場に立って、ご奉仕させていただきます。

また、事前相談等も常時承っておりますのでお気軽にご相談下さい。

葬儀申し込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、いすや会館を含め、市内に8ヶ所あります。

セレモニーホールおおつか…………… ☎52-1212
かほ葬祭 あじさい会館…………… ☎62-5566
善光会館 稲築会場…………… ☎83-5000
おかむら葬祭岡村会館…………… ☎42-4420

飛鳥会館 南斎場…………… ☎42-4241
きど葬祭やまさ碓井斎場…………… ☎62-4499
ひさつね会館…………… ☎52-0758

みなさまの善意、心より厚く、
お礼申し上げます。



寄付

香典返し受付分

2月1日～2月28日受付分

●香典返し

【漆生中央】

親族 磯田京子様

【山野第一】

親族 水間敦志様

【山野第二】

親族 吉良和忍様

【平第一】

親族 原田代忍様

【緑ヶ丘】

親族 大邊慎市様

【飯田】

親族 金子フサ子様

【熊本】

親族 船川博征様

【上臼井上】

親族 篠原シズ子様

【上臼井下】

親族 篠原カナメ様

【南ヶ丘団地】

親族 樋口正人様

【本町】

親族 牟田口敏助様

【木城】

親族 牟田口キヨコ様

【下益】

親族 神崎幸男様

【三日町】

親族 福澤テル子様

【高吉】

親族 江藤二男様

【中央】

親族 松岡シズエ様

【一般寄附】

(株)O・K保険事務所
嘉穂の名水愛好者一同
創作芸能鼓夢

【子育てリユース】

枝坂白土綾乃様

【アルミ色】

飯田松隈明美様

【アルミ色】

飯塚市 山口輝生様

【アルミ色】

飯塚市 廣瀬陽子様

【アルミ色】

漆生南部 岩田勇治様

【アルミ色】

漆生南部 西田幸子様

東岩崎 松岡光様

鴨生町 福澤和代様

枝坂 久家浩史様

枝坂 久家奈緒美様

中央 明石睦則様

猪之鼻 菊池春政様

鴨生第一行政区 石ヶ崎シニアクラブ

【リングブル】 漆生中央 佐伯澄子様

口春 永易敬行様

鴨生町 福澤和代様

木城 菅尾航希様

石ヶ崎 國武美千代様

三日町 大村美生様

田川市 佐竹真喜枝様

嘉麻市商工会 長門寺仏教婦人会

石ヶ崎シニアクラブ 匿名

清浄学園 嘉穂洋瓦(有)

【古切手】 上野見山修様

山田電気 山田トモス様

教育ナビゲーション(株) 福岡銀行稲築支店

山田饅頭本舗 嘉穂洋瓦(有)

【使用済テレカ】 嘉穂洋瓦(有)

【アルミ】 古河塚原京子様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々に
ご介入了いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

2月1日～2月28日受付分

〈東岩崎〉嶋田真知子

〈鴨生第二〉下木屋篤、下木屋初代

〈鴨生町〉後藤ノブ子、東イソ、高木ハツ子、和田立子、山崎千代子、野見山歌子、西川ヤエノ、山本加代子、秋徳孝輝、水永義治、江藤ハツ子、松本ミヨ子、山本光子、田中光春、越岡幹雄(三口)、荒川逸子、小峠花子、棚田幸子、井口磨智子、石田佐知子、田村柳子、荒木征男、財津寛美、山下靖治(二口)、坂口十七子、野見山信義、田中ふすま店、辻田浩、入江敏夫、有吉伸二、村上富美子、角田涉、小島レイ子、森政食品、パナソニック、たかせ、末田正和、立川米店、ニッコウ、大屋喜則、川角定行、宮崎勇、野見山加代子、大井宮子、高橋統子、長崎しずえ、栗原清子、浅田チズ子、百武明、櫻井カメノ、古賀和代、井上修二、近藤昭枝、中村勸、北添誠、三村理容店、諸井慶次、梶原謙蔵、高津嘉子、許斐富美子、光延義久、篠田芳子、塚本謙太郎、川畑千秋、大原義子、田中茂、西出福江、永田隆正、宿里幸男

〈漆生老松〉菊地由美

〈枝坂〉的場定男(二口)、安井勝彦、尾畑学、橋本玲子、前橋シゲ子、白土綾乃

〈鴨生北町〉羽野喜代子、梅永昭江、中須サカエ、長田清乃、縄田カヨ子

〈熊ヶ畑第二〉大里和久、大里美郁

〈上臼井下〉犬丸明美

〈大隈〉斎藤ゆかり

〈三日町〉大村勝彦

〈上牛隈〉中島由美

〈西馬見〉縄田和之、縄田由紀子

〈椎木〉山口隆弘、山口美紀子

〈桑野〉渡辺季好、渡辺つ子

〈飯塚市〉牧口輝代、上森和雄

子育てリユースセンターからのお願い

山田ふれあいハウス2階に開設している子育てリユースセンターでは、さまざまな用品をリユースすることで、子育て家庭の支援を行っています。その中でも、嘉麻市内や近郊の中学校・高校の制服、通学かばんやランドセルなどは必要とされている方が多く、よく問い合わせをいただいています。

お子様の卒業後、不用になった制服等がございましたら、ぜひ、子育てリユースセンターにお寄せください。

なお、衣類をお寄せいただく際は、洗濯をお願いいたします。



現在も制服やかばんが
寄せられています。

《お問い合わせ先》
子育てリユースセンター
嘉麻市上山田502番地6
☎0948-52-1847

山田ふれあいハウス内

ふるさとへの手紙 No.110



大阪府 門真市在住
村田 文雄さん
錢代坊出身

懐かしきふるさと稲築、嘉麻川の流れ清らかに

錢代坊で生まれ、鴨生小学校、稲築東中学校、嘉穂工業高校と18年間住み慣れた、「ふるさと稲築」を離れて49年、高校卒業後に大阪の阪急電鉄に入社（1966年）、結婚（1972年）を機に、大阪府門真市に住み、四人の子宝に恵まれ現在は、孫6人。

子ども達が成長するにつれて、地域での子ども会会長や小学校のPTA会長を歴任する中で、市議会議員候補の縁にふれ、1999年～2011年まで3期12年間、門真市議会議員として地域の発展に寄与させていただきました。

母親は、1994年まで稲築の鴨生に住み、しかし脳梗塞で倒れ、やむなく長男である私が大阪へ引き取り療養生活が始まりましたが、7年前（2008年）に88歳で亡くなりました。それまで居住していた鴨生枝坂の懐かしい我が家も

兄弟四人との話し合いの結果、処分。

今は高校同窓会本部総会に2～3年ごとに参加のため帰郷することが大変楽しみで、中学校の同窓の友も帰郷するごとに数人集まってくれ、飯塚での楽しい夜を企画してくれまます。また高校同窓会関西支部の支部長として15年、関西の同窓の友と年一回、6月の第一日曜日に賑やかに集い、青春時代を語り合うお世話をさせていただいています。

漆生線の鴨生駅も29年前に廃線と同時に、今はミニコメントだけになりましたね。賑やかだった頃が本当に懐かしく、人で溢れかえっていた、あの銀座商店街は遠い昔のことになりました。鴨生小学校の生徒だった頃の運動会も大変な賑わいで、炭釜の閉山に伴い人口流出が留まりませんでした。あの頃は嘉麻川も洗炭で真っ黒でしたが、いつの間にか清流となりました。

手元に昭和28年12月25日撮影の三井錢代坊幼稚園A組の集合写真があり106名の6歳児が写っています。その後みんなは、それぞれ小中学校卒業し日本の何処かで生活しているだろうと思うと、その頃の団塊の世代がいかに多くいたか想像でき懐かしさでいっぱいです。

コラム 交差点

以前、テレビでダウン症の男子高生3人がボウリングをして昼食を食べて帰るといふ初めて親から離れて友達同士で出掛ける体験番組を見ました。それには、こづかいは一五百円、ボウリングは2ゲームまで昼食代は千円までとお母さんとの約束があり、3人はうれしそうに出掛けました。

ボウリング場の受付は字を書くのが得意な子がしました。2ゲーム目のやり方がわからない時は、リーダー的存在の子が店員さんに聞くように友達に指示したりと困った場面でも、考えてそれぞれの役割を果たしていました。しかし途中にしかかけがあり、ボウ

リングの2ゲーム中、隣のレーンに女子高生が来て盛り上がり一緒にもう1ゲームしようかと誘われたり、昼食後、デザートを勧められたりする場面がありました。3人は誘惑に負けそうになる時もありましたが、ちゃんと断わる事も出来ました。そんな3人のようすをモニターでお母さんが心配そうに見ながら、「今まで心配でいつも一緒に行動していました」と言っていると、司会者が「あなたが高校生だったら、お母さんと一緒に遊びに行つて楽しいですか?」と聞きました。お母さんが「嫌です」と答えると、「それなら、この子達も一緒ですよ」と司会者が言いました。本当にそうだと思います。私も22才の知的障がいの子がいて、いつも一緒に行動していま

すが、泊キャンプの交流会で同級生の友達3人と楽しそうに歌っている姿を見て、こんなふうに仲良しの友達とボウリングやカラオケ等に行つて楽しめるようになったらいいなとしみじみ思いました。

普通だったら、親から離れて友達と遊びに行くのは当たり前です。親が心配して手離せない気持ちもありますが、あの男子高生3人のように体験してみなければわからない事もたくさんあると思います。色々体験して失敗しながら学んでいく事も大切だと思います。

障がいがあっても、自分の好きな事、楽しみを見つけて楽しい人生を送ってほしいと願っています。

（上山田 浜野 美雪）

編集後記



今までの炭釜の記憶は、私たちが取材して話を伺ったことを掲載していましたが、今回は、寄稿という形で赤間さんから原稿を書いていただきました。当時のことを全く知らない私にとってとても勉強になりました。

（きはら）



第2期市民後見人養成講座は、私も毎回みなさんと一緒に講座を受け、たくさん勉強させていただきました。これからもみなさんとつながり、いろんな活動を一緒にさせていただきたいので、よろしく願いいたします。

（みぞぐち）



山田中学校の卒業式にお邪魔しました。最後のホームルームで、一人ひとりが保護者への手紙を照れくさそうに渡している姿がとても印象的でした。4月から新たな生活のスタートです。みなさんにたくさんの良い出会いがあることを願っています。

（たけがわ）



成年後見制度Q&Aでは、どのような人が後見人になれるかを紹介しました。少しでもみなさんのお役に立てばうれしいです。

（ながの）



だんだんと春の陽気になってきましたね。何かしらスタートされている方も多いと思います。よかったら、春からボランティア活動も始めてみませんか?

（かじ）



アルミ缶や古切手など、先月もたくさんの寄附をいただきました。持ってこられた方の中には、「なかなか、たまらんけど、また持ってくるね。」と話される方もおられ、とても嬉しい気持ちになりました。

（ふかがわ）